

今年度より新任TACとして菖蒲地区（北部エリア）担当になりました飯山です。訪問先として主に果樹生産者を担当しています。

今回は梨栽培での害虫ハダニ類について天敵（ミヤコカブリダニ）を活用した防除を紹介します。

今年は6月下旬の高温でハダニ類の発生時期が早く防除に苦労した梨農家さんも多かったのではないのでしょうか。

ハダニ類は高温乾燥を好むため梅雨明け頃から急激に増加して、被害が激しいと葉の黒化や早期落葉の原因となるため適切な防除が必要です。

また、各種殺ダニ剤への薬剤抵抗性が発達しており、有効な薬剤も限られてきています。そのため近年では薬剤の温存、薬効維持の観点から天敵生物を上手に利用した総合的病害虫・雑草管理（IPM）技術に期待が寄せられています。

この天敵生物を利用した殺虫剤がスパイカルプラスです。スパイカルプラスの設置時期は6月上旬、10aあたり100パックを設置します。パックを防水カバーに入れ、枝に付けるだけなので設置は簡単です。設置後2～3週間程度はパックの中で増殖しハダニ類が増える6月下旬以降に活発になります。

天敵に影響の少ない農薬を使用することにより土着天敵も増やしつつハダニ類の増殖を抑えることができます。

今年導入した梨園場では「天敵がハダニを抑制してくれるので時間的・精神的にゆとりができた」「殺ダニ剤の散布回数減ったので省力化に繋がった」などのお声をいただいております。

次年以降、天敵剤の導入に興味がありましたら、担当TAC職員及びお近くの営農経済センターまでお問い合わせください。

※発注から納品まで2週間以上かかりますのでお早めにご注文ください。

※気候・圃場条件により天敵剤の効果には差があります。



風雨から守るため防水パックに入れます。

ホッチキス等で枝に設置します。袋の両下端から放飼されます。